

全国特別集会

(2020年9月)

日本における主の行動のための神の福音

神の福音の結晶の学び

人性における三重の子孫、すなわち、女の子孫、アブラハムの子孫、ダビデの子孫であるキリストの福音は、全聖書が啓示する良きおとずれです。

真の、内在的な、最高の、最も満ち満ちた福音とは、神のエコノミーの福音、すなわち、子たる身分の福音です。それは、神を人の中へと建造し込み、人を神の中へと建造し込むことによって、キリストのからだとしての召会を建造します。

人性における三重の子孫としてのキリスト——

全聖書が啓示する良きおとずれ

聖書：創 3:15. 17:7-8. サムエル下 7:12-14 前半. ガラテヤ 3:14, 16, 29. 4:4-6. ローマ 1:3-4

I. キリストは三一の神・人として（コロサイ 2:9）、人性における三重の子孫です。すなわち、女の子孫（創 3:15. イザヤ 7:14. ガラテヤ 4:4）、アブラハムの子孫（創 12:7. マタイ 1:1. ガラテヤ 3:16）、ダビデの子孫（サムエル下 7:12-14 前半. マタイ 1:1. 22:42-45. ローマ 1:3. 啓 22:16）です：

- A. 復活においてキリストは、肉体における最後のアダム、人性における三重の子孫として、命を与える霊、すなわち、命の霊と成りました（変貌しました。すなわち、霊と成りました）。そして、彼ご自身をわたしたちの中へと分与し（I コリント 15:45 後半. ローマ 8:2）、キリストのからだとしての召会を建造します。
- B. 女の子孫として、彼は神の敵を滅ぼしました。アブラハムの子孫として、彼は究極的に完成された三一の神となり、わたしたちの満ち満ちた祝福、すなわち、七倍に強化された命を与える霊と成りました。ダビデの子孫として、彼はわたしたちを命の中で王として支配させ、彼の王職にあずからせ、全地を満たす彼の王国とならせ、全地を神の王国となさせます（ダニエル 2:34-35）。
- C. こういうわけで、敵は消え去り、祝福はここにあり、わたしたちは王国にいます。これが、全聖書が啓示する良きおとずれです！

II. 女の子孫としてのキリストは、肉体と成ったキリスト、すなわち、神全体を指しています。彼は、ご自身を人性の中へと分与することを通して、完全な人と成りました。また、サタンを滅ぼして、キリストにある信者を罪と死から救います——創 3:15. イザヤ 7:14. マタイ 1:16, 20-21, 23. ガラテヤ 4:4. ヨハネ 1:1, 14. 8:24, 28, 58. ヘブル 2:14. I コリント 15:53-57：

- A. 「神は御子を遣わし、一人の女から生まれさせ」、わたしたちに法理的な贖いを得させました。神は、「御子の霊を遣わされ」ました。それは、彼の御子の変貌であって、わたしたちを「息子化」し、わたしたちに有機的な救いを得させます——ガラテヤ 4:4-6. 3:13-14。
- B. 命を与える霊としての復活したキリストは、変貌した女の子孫であって、わたしたちの中へと分与され、わたしたちの中で蛇の頭を打ち砕きます。そして、わたしたちを団体の女の子孫、勝利を得た男の子とならせて、古い蛇に対する神の裁きを遂行します。また、神の時代的手段とならせて、時代を変え、神の王国の実現をもたらします——啓 12:5。
- C. 導く勝利者としての主（3:21）は、男の子のかしら、中心、実際、命、性質です。従う勝利者としての男の子は、主のからだです：
 - 1. わたしたちが男の子になる道は、日々、わたしたちの内なる人の中へと増強されて、力づけられ、キリストの豊富を経験することです。また、すべてを含むキリストを武具として身に着け、すべての祈りによって御言葉を受け入れることを通して、強くなることです——エペソ 3:16. 6:10-20。

2. わたしたちが小羊の血を適用して、わたしたちの証しの言葉を語り出すとき、また死に至るまでも自分の魂の命を愛さないとき、命の子孫としてのキリストの自然な命の力は、わたしたちの中で蛇の頭を打ち砕きます——ローマ 8:2. 啓 12:10-11. 使徒 1:8。

III. アブラハムの子孫としてのキリストは、地上のすべての家族に祝福を得させるためです。最後のアダムとして、アブラハムの唯一の子孫は、命を与える霊と成りました——創 12:2-3, 7. 17:7-8. ガラテヤ 3:14, 16, 29. I コリント 15:45 後半. ヨハネ 12:24 :

A. 命を与える霊としての復活したキリストは、変貌したアブラハムの末、アブラハムの子孫であり、わたしたちの中へと分与され、わたしたちをアブラハムの子たち、団体のアブラハムの子孫とならせます。そして、アブラハムの祝福である究極的に完成された霊を受け入れ、受け継ぐことができるようにします——ガラテヤ 3:7, 14. 4:28 :

1. 神がアブラハムに約束した祝福の物質的な面は、良き地でした（創 12:7. 13:15. 17:8）。それは、すべてを含む命を与える霊である、すべてを含むキリストの予表です（I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17）。
2. 命を与える霊としてのキリストは、アブラハムの祝福（ガラテヤ 3:14）、すなわち、アブラハムに約束されたアブラハムの子孫と良き地との実際です。今日のわたしたちの祝福は、神ご自身です。彼は、キリストの中に具体化され、その霊として実際化されて、わたしたちの中へと分与され、わたしたちの享受となります。

B. わたしたちは信仰を聞くことによって、すべてを含む命を与える霊であるキリストを絶えず受け入れることができます。そして、アブラハムの子孫としての彼にわたしたちの中で成長していただき、わたしたちはアブラハムに約束された地としての彼を享受します——2, 5 節. II コリント 4:13 :

1. わたしたちはその霊を受け入れるために、その霊が諸召会に言われることを聞く耳を持つ必要があります（啓 2:7. 参照、ヘブル 5:11-14）。わたしたちの内なる諸部分の中へと分与されることができるその霊の量は、わたしたちの聞く量にかかっています（マルコ 4:23-25. マタイ 13:14-16. 5:3, 8. ルカ 10:38-42）。
2. わたしたちは、キリストを極みに至るまで愛し、キリストをわたしたちの絶対的な献身とすることによって、奴隷・救い主としてのキリストと一になる必要があります。そして彼に道を与えて、わたしたちの耳を開いていただき、彼の神聖な指示、彼の新鮮なメッセージを聞く必要があります。このメッセージは、神聖なその霊をわたしたちの中へと分与し、わたしたちを神の御子の福音において、わたしたちの霊の中で、神に仕えさせます——出 21:1-6. イザヤ 50:4-5. ペリピ 3:3. ヨハネ 6:63. II コリント 3:6. ローマ 1:9。

IV. ダビデの子孫としてのキリストは、命を与える霊としての復活したキリストを指しています。彼は、ご自身を彼のからだの肢体の中へと分与することによって、神の永遠のエコノミーを遂行します。それによって彼らは、命の中で王として支配し、彼の王職にあずかって、彼の共同の王たちとなります——サムエル下 7:12-14 前半. ローマ 1:3-4. 5:17. 啓 20:4, 6 :

A. 神性におけるダビデの主、すなわち、ダビデの根は、肉体と成って、人性における

ダビデの子、すなわち、ダビデの子孫となり、最後のアダムとなりました。最後のアダム、ダビデの子は、復活して、神の長子また命を与える霊、すなわち、変貌したダビデの子孫と成りました。そして、ご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちを神の多くの子たち、またキリストの共同の王たちとします——マタイ 22:41-46. 啓 22:16. ヨハネ 1:14. I コリント 15:45 後半. ヨハネ 12:24. ローマ 8:28-29. 使徒 13:33. ローマ 5:17。

B. ダビデの主は、ダビデの子となって、神の法理的な贖いを達成しました。ダビデの子（ダビデの子孫）は、命を与える霊としての神の長子となって、神の有機的な救いを遂行します：

1. ダビデの主は肉体と成って、ダビデの子となり、彼の死を通してわたしたちを神に和解させました。ダビデの子は復活して、命を与える霊としての神の長子となり、わたしたちを彼の命の中で救います—— 10 節。
2. わたしたちは、彼の命の中で救われつつあり、神化されて、神の表現となります。またわたしたちは、神の王国としての召会の中で、あふれるばかりの恵みによって、命の中で王として支配しており、勝利を得て、神に支配を得させます—— 10, 17 節. 14:17。
3. そのような有機的な救いは、からだにおいてであり、諸地方召会の中でからだを建造するためです。そして、新エルサレムを究極的に完成して、命の都とさせます。また、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく、命と性質において神となるためであるということの究極的完成とさせます——創 1:26. 啓 21:2。

C. 命を与える霊としての復活したキリストは、変貌したダビデの末、ダビデの子孫であり、神の確かなあわれみ、すなわち、彼の永遠の契約としてわたしたちの中へと分与され、わたしたちの享受となります——イザヤ 55:1-3, 6-11. 使徒 13:33-35：

1. 使徒第 13 章 34 節でパウロは、イザヤ第 55 章 3 節の神の確かなあわれみ（ヘブル語で、chesed、ケセド）を、「ダビデのあの聖なるもの、信実なもの」と解釈しています。そして使徒第 13 章 33 節と 35 節で彼は、あの聖なるもの、信実なものが、神の長子としての、また聖なる者としての、復活したキリストご自身であることを示しています。
2. これは、イザヤ第 55 章 4 節によっても確認されます。この節は、確かなあわれみが、もろもろの民への証人、指導者、命令する者としてのキリストご自身であることを啓示しています。
3. ダビデの子孫としての復活したキリストは（ローマ 1:3-4）、ダビデの末マリア、すなわち、キリストの母（マタイ 1:16）を通してダビデに示された神の確かなあわれみであり、ご自身を彼のすべての信者の中へと分与します（I コリント 15:45 後半）。それによって彼らは、彼をあふれるばかりの恵みとして経験し、命の中で王として支配し、サタン、罪、死に打ち勝ちます（ローマ 5:17, 21）。
4. 彼は、あわれみと祝福、「あの聖なる、信実なもの」、神がわたしたちに与えてくださる大いなる賜物、すなわち、永遠の契約であり、彼の計り知れない豊富すべてを伴っており、わたしたちのすべてを含む恵みとなります——イザヤ 42:6. I コリント 1:9. 参照、使徒 13:43。

5. わたしたちの霊は、新契約のすべての遺贈の「銀行口座」です。命の霊の法則によって、これらすべての遺贈はわたしたちの中へと分与され、わたしたちにとって実際となります——ローマ 8:2, 10, 6, 11, 16. ヘブル 8:10. ヨハネ 16:13。
- D. 命を与える霊としての復活したキリストは、変貌したダビデの末、ダビデの子孫であり、わたしたちの中へと分与され、わたしたちを神の永遠の王国において、キリストの復活の中で彼の王職にあずからせます——Ⅱテモテ 2:12 前半. 啓 20:4, 6。
- E. 命を与える霊としての復活したキリストは、変貌したダビデの末、ダビデの子孫、王国の子孫であり、わたしたちの中へと分与され、わたしたちを王国の子たちとならせ、命の中で王として支配させ、王国の実際の中に生きさせます。それによってわたしたちは王国の実現のときに、彼によって移されて、彼と共に戻って来て、団体の打つ石となり、この世の王国を消滅させ、大きな山、すなわち、神の王国となって、全地を満たします——マルコ 4:26. マタイ 13:18-23, 38, 43. ヘブル 11:5-6. 創 5:21-24. ダニエル 2:34-35。
- V. わたしたちはキリストを、人性における三重の子孫として享受し、宣べ伝えるために、信者たちに対する以下の命令の中へと入り込む必要があります：
- A. わたしたちは、キリストの死、復活、昇天において、彼と一体化されなければなりません。それによってわたしたちは、わたしたちの霊の中に生きて、彼と一つ霊になることができます——ローマ 6:3-5. エペソ 2:6. I コリント 6:17。
- B. わたしたちは、その霊を消さずに、絶えず祈ることを通して、神の恒常的で即時的な分与を絶えず受けなければなりません——I テサロニケ 5:17, 19。
- C. わたしたちは、わたしたちの霊の中で、キリストの十字架を通して、彼の復活の中に生きなければなりません。そして彼のからだのために、彼を他の人たちの中へと分与しなければなりません——ピリピ 3:10。
- D. わたしたちは、個人主義、宗派主義、キリスト教の墮落に打ち勝たなければなりません。またわたしたちはキリストのからだの生活を生きなければなりません——啓 2:26-27. 3:21。
- E. わたしたちは、キリストの霊の満ちあふれる供給、すなわち、からだの供給によって、霊なるキリストである彼を生き、福音を前進させなければなりません——ピリピ 1:5, 19 後半-21 前半. 詩第 133 篇。
- F. わたしたちは、内側も外側もその霊で満たされなければなりません。またわたしたちは、わたしたちの霊の中で、その霊にしたがって生き、歩いて、キリストの福音を前進させなければなりません。キリストは、人性における三重の子孫です。すなわち、全聖書が啓示する良きおとずれです——使徒 13:52. 4:31 後半. ガラテヤ 5:16, 25. ローマ 8:4 後半. ピリピ 1:12。

神の恵みの福音

聖書：使徒 20:24, 32. エペソ 3:2, 4:29. II コリント 13:14, 12:9. ガラテヤ 6:18. 啓 22:21

I. 恵みとは、神ご自身がキリストの中で、その霊として、わたしたちに与えられ、わたしたちによって得られ、わたしたちによって享受されることです。神の恵みの福音とは、恵みの執事職であって、神を人々の中へと分与して、彼らの享受とならせることです——ヨハネ 1:17. 使徒 20:24. エペソ 3:2 :

A. キリストの中でわたしたちに与えられた恵みは、この世が始まる前にわたしたちに与えられました——II テモテ 1:9. テトス 2:11。

B. 初めからおられた神は、時間の中で肉体と成って、人が受け入れ、所有し、享受するための恵みとなりました。そして神を、接触することができ、触れることができ、受け入れることができ、経験することができ、入ることができ、享受することができ、その恵みとしました——ヨハネ 1:1, 14, 16-17。

C. わたしたちの主イエス・キリストの恵みは、三一の神（彼は、御子の中に具体化されており、命を与える霊として実際化されています）の満ちあふれる供給であり、わたしたちの人の霊を活用することを通して、わたしたちによって享受されます——ガラテヤ 6:18。

D. 日々、驚くべき神聖な伝達が起きているべきです。神は、恵みの霊をあふれるばかりに供給しています。わたしたちは絶えず、恵みの霊を受け入れ、分与しているべきです——ヨハネ 1:16. ヘブル 10:29 後半. ガラテヤ 3:2-5. エペソ 3:2, 4:29。

E. 日々、恵みを受けて、わたしたちが恵みを流し出す道は、霊に戻り、霊を活用して、主に御座に着いていただくことです——詩歌 557 番 :

1. 恵みの御座は、わたしたちの霊の中にあります。わたしたちは満ちあふれる恵みを、わたしたちの内なる諸部分の中に受け入れる必要があります。それによって恵みはわたしたちの内側で王として支配し、わたしたちは命の中で王として支配し、サタン、罪、死に打ち勝ちます——ヘブル 4:16. ローマ 5:17, 21. 参照、啓 4:2。

2. わたしたちは、霊に戻って主の御名を呼び求めることによって、恵みの御座へと来るときはいつも、主に御座に着いていただき、彼にわたしたちの内側でかしら、王、主となっていていただくべきです——コロサイ 1:18 後半. 啓 2:4-5. エペソ 6:24。

3. 神の御座は、あふれ流れる恵みの源です。わたしたちが主を御座に着けず、主を御座から降ろすときはいつも、恵みの流れは止まります——啓 22:1。

4. もしわたしたちが、わたしたちの内側で主イエスに御座に着いていただくなら、その霊は生ける水の川々として、恵みの御座から流れ出て、わたしたちを供給します。このようにして、わたしたちは恵みを受け、恵みを享受し、そして恵みを他の人たちに供給します——ヨハネ 7:37-39 前半. 使徒 6:4。

F. 日々、恵みを受けて、わたしたちが恵みを分与する道は、血、言葉、その霊、召会を通してです :

1. 贖いの血、契約の血、神ご自身の血は、罪深い、腐敗した人々を、神の永遠の享受の中へともたらしめます—— 20:28. マタイ 26:28. レビ 16:11-16. ヘブル 10:19-20。

I ヨハネ 1:7, 9。

2. 神の言葉は、わたしたちによって食べられて、彼の恵みの言葉となり、わたしたちの心の楽しみと喜びになることができます——使徒 20:32. エレミヤ 15:16. ヨハネ 6:63. エペソ 6:17-18。
3. 恵みの霊は、手順を経て究極的に完成された神の満ちあふれる供給として、歓喜の油であり、それをもってわたしたちはキリストのパートナーとして塗られます——ヘブル 1:9. 10:29 後半. ゼカリヤ 12:10 前半。
4. 神の召会は、新鮮な、また活気づける神の恵みを、下ってくる露として経験します。この露は、神の深い同情を通して天からわたしたちに臨み、わたしたちに水を注ぎ、わたしたちを造り変えます——詩 133:3. 哀 3:22-23. II コリント 13:14. 使徒 11:23。

II. パウロは彼の務めにおいて、神の恵みの福音を厳かに証して、神を人々の中に供給しました。パウロは彼の文書の中で、神の恵みが何であるかをわたしたちに明らかにしています——使徒 20:24, 32 :

- A. 恵みとは、神の訪れであり、人の中にとどまり、人の中で生まれ、人と一になります——ルカ 1:28, 30. マタイ 1:18. II テモテ 4:22。
- B. クリスマン生活は、恵みの生活、恵みの経験でなければなりません。それによってわたしたちは、恵みの執事職、すなわち、恵みの分与を遂行することができます——II コリント 12:9. II テモテ 4:22. エペソ 3:2 :
 1. わたしたちの言葉は、聞く人たちに恵みを伝えるべきです——ルカ 4:22. エペソ 4:29. イザヤ 50:4-5。
 2. 召会生活の中で、わたしたちは恵みを受けるとき、召会は建造され、わたしたちの受ける恵みは、目に見えるものとなります——使徒 4:33. 11:23。
- C. キリストのからだの修行上の生活と建造は、神の恵みとしてのキリストを内側で享受することから出てきます——I コリント 1:9. II コリント 13:14 :
 1. キリストの享受は、十字架の働きを通して、召会の中のすべての問題を解決します——I コリント 1:13 前半, 18, 23-24. 2:2。
 2. キリストの享受は、命の成長という結果になり、わたしたちを召会建造のための尊い材料として生み出します——3:6, 9-14。
 3. キリストの享受は、命の成長によってわたしたちの賜物を発展させます——12:1-11。
- D. 新契約の奉仕者は、苦難を通してキリストを彼らのすべてに十分な恵みとして享受します。新契約の務めは、啓示と苦難によって生み出されます——II コリント 12:7. 1:3-4, 8-10 :
 1. 恵みとしてのキリストは、新契約の奉仕者の上に幕屋を張る力となり、彼らの弱さを影となって覆い、彼らの住まいとなり、彼らを保持し、支え、維持し、保護し、守ります——12:9 後半。
 2. わたしたちは、わたしたちの行動と保護のために、キリストにある神の恵みをわたしたちに適用して、強さと力とする必要があります——エゼキエル 1:6 後半, 9 前半. 出 19:4. イザヤ 40:28-31. II コリント 4:7. 1:12. 12:9. I コリント 15:10。

詩 17:8. 57:1. 63:7. 91:4。

- E. 神の恵みとしてのキリストは、わたしたちが入り、享受し、経験し、あずかり、所有する良き地です——Ⅱコリント 1:12. 12:9. 13:14. コロサイ 1:12. 2:6-7 前半. 参照、出 3:8。
- F. 恵みとは、神聖な三一がわたしたちの中に伝達されて、わたしたちの享受となること、また三一の神が父、子、霊という三つの面において具体的に現されることです——Ⅱコリント 13:14. 民 6:22-27. 詩 36:8-9 :
1. 主の恵みは、わたしたちの命としての主ご自身であり、わたしたちの享受となります (ヨハネ 1:17. I コリント 15:10)。神の愛は、神ご自身であり (I ヨハネ 4:8, 16)、主の恵みの源です。聖霊の交わりは、聖霊ご自身であり、主の恵みと神の愛との伝達であり、わたしたちにあずからせます——Ⅱコリント 13:14。
 2. Ⅱコリント第 13 章 14 節で主の恵みが最初に述べられているのは、本書がキリストの恵みについてのものであるからです—— 1:12. 4:15. 6:1. 8:1, 9. 9:8, 14. 12:9。
 3. 聖霊は、キリストの恵みと御父の愛との循環、伝達であり、わたしたちのクリスチャン生活と召会生活の中の供給です：
 - a. 召会生活全体は、Ⅱコリント第 13 章 14 節にかかっています。
 - b. Ⅱコリント第 13 章 14 節で啓示されている、わたしたちの内側の神聖な三一の流れは、わたしたちの霊的命脈です。
- G. 神のエコノミーにおける神の恵みの産物は、三一の神の詩としての召会であって、彼の恵みの卓越した豊富を、彼の無限の知恵と神聖な構想と共に展覽します——エペソ 1:6-8. 2:10, 7。
- Ⅲ. 新約時代を通して、彼の選ばれた者たちの中へと分与される主イエスの恵みは、新エルサレムにおいて究極的に完成します。その中で、手順を経て究極的に完成された三一の神は、すべての信者によって享受される恵みとなって、永遠に至ります——啓 22:21。

神の福音の構造——神の義、キリストの命、信者の信仰

聖書：ローマ 1:16-17. 3:22. 5:1-11. 10:17. ヘブル 11:1. 12:1-2 前半

I. ローマ人への手紙における神の福音に関するかぎとなる言葉と、神の永遠のエコノミーの標語は、ローマ第 1 章 17 節です。この節は、神の福音の構造を啓示しています——「義人は信仰によって命を持ち、そして生きる」。

II. 神の義は、神の救いの法理的な手続きです——ローマ 1:16-17：

A. 神の義の要求が満たされなければ、神は罪深い人を赦すことができません（詩 103:6-7）。彼の義によれば、「罪を犯す魂は死ぬ」（エゼキエル 18:4）のであり、「罪の報酬は死です」（ローマ 6:23）。

1. キリストは罪人の身代わりとして、身代わりの死を成し遂げました。この死は、神の律法にしたがった合法的なものであり、律法にしたがって神によって承認され、良しと認められました——イザヤ 53:5-6. II コリント 5:21. マタイ 27:45-46。

2. 義なる方であるキリストは、不義な者であるわたしたちに代わって、義なる神によって、彼の義にしたがって、裁かれました。それは、わたしたちの罪の障害を取り除いて、わたしたちを神へともたすためでした——I ペテロ 3:18。

3. 十字架上でイエスは、わたしたちに代わって罪とされ、肉において罪を罪定めし、またわたしたちに代わって死ぬことによって、神のすべての義を満たしました。今や、彼の義のゆえに、神はわたしたちを赦さなければなりません——II コリント 5:21. ローマ 8:3, 10. ヨハネ 19:30。

B. 神は彼の義によって縛られていて、わたしたちを赦さなければならないので、義は神の救いの力であり、またわたしたちの救いの揺り動かされない土台です——ローマ 1:16-17：

1. キリストに対するわたしたちの経験は、神の義の土台の上にあります。この義は、神の御座の確固とした、堅固な、揺り動かされない土台であり（詩 89:14）、神の王国が建造される基礎でもあります（ローマ 14:17）。

2. 神は、わたしたちの身代わりとしてキリストを死に渡しました。彼は、キリストの死がわたしたちの罪の負債を完全に支払ったことを承認しました。神の右に座っている、復活し昇天したキリストは、この支払いの「領収書」です——4:24-25。

3. こういうわけで、いつであれわたしたちがイエスの血を宣告して、神の義に訴えるとき、神はわたしたちを赦す以外に選択はありません——I ヨハネ 1:9. 詩歌 235 番。

C. 命は、神の救いの目標です。こういうわけで、義認は「命の」義認です。わたしたちは義認を通して、神の義の標準に到達し、それに符号するようになります。ですから、今や神はご自分の命をわたしたちの中に分け与えることができます——ローマ 5:18。

III. キリストの命は、神の救いの有機的な目的です——ローマ 5:10：

A. わたしたちが義とされた結果は、キリストの中での、わたしたちの命としての神に対する満ち満ちた享受です。神の有機的な救いにおいてわたしたちは、愛、恵み、

平和、望み、命、栄光、聖霊、キリスト、わたしたちの享受としての神を持ちます—— 1-11 節。

B. キリストの救う命は、以下の点において、神のダイナミックな救いの有機的な目標を達成しつつあります—— 10 節：

1. わたしたちは、神からわたしたちへの義としてのキリストの中で、神によって義とされました。それはわたしたちがこの命の中で、神の御前に生きるためです—— 1:17。
2. この命は、神が義とした信者たちを、神の多くの子たちとします（8:14. ヘブル 2:10）。彼らは、命の霊によって（ローマ 8:2）、神の生み出し増殖する命をもって、再生されることを通して（I ペテロ 1:3）、キリストの多くの兄弟たちとなります（ローマ 8:29）。
3. この命は、死につつある信者たちの中へと分け与えられます。それによって彼らはキリストの中で成長して、死から出て、円熟へと至ります—— 11 節。
4. 内住するキリストは、命の霊によって、信者たちの中で運行します。それによって彼らは、キリストの命とこの命の平安を享受します—— 5-6 節。
5. この命は、聖なる要素としての神の聖なる性質をもって、わたしたちを聖別します—— 6:19-20。
6. この命は、命の霊によって、再生の洗いに基づき、わたしたちを更新し、わたしたちをわたしたちの古い人の古い要素から更新して、わたしたちの新しい人の新しい構成とならせます—— 12:2 後半. テトス 3:5。
7. この命は、命の霊によって、キリストの神聖な命の要素をもって、新陳代謝的にわたしたちを造り変え、わたしたちをわたしたちの古い構成から造り変えて、わたしたちの新しい構成とならせ、キリストの有機的なからだを建造します——ローマ 12:2 後半, 5. II コリント 3:18。
8. この命は、わたしたちを神の長子であるキリストのかたちへと同形化します。それによってわたしたちは、完全に成長した神・人となって、三一の神を表現します——ローマ 8:29。
9. この命は、わたしたちの体の贖いを通してわたしたちを栄光化します。それによってわたしたちは、栄光の自由とわたしたちの満ち満ちた子たる身分との中へ入ります—— 21, 23, 30 節。
10. この命によって、わたしたちは王として支配し、サタン、罪、死に打ち勝ちます—— 5:17, 21。
11. 以上の十項目はすべて、諸地方召会として表現されるキリストの有機的なからだを生み出して、建造するためです。これは、ローマ人への手紙の最後の五つの章で扱われています。

IV. 信者の信仰は、神の救いの実行上の実体化です——ヘブル 11:1：

A. 信者の信仰は、実は彼ら自身の信仰ではなく、キリストが彼らの中に入って、彼らの信仰となることです——ローマ 1:12. 3:22 とフットノート 1. ガラテヤ 2:16 とフットノート 1。

B. わたしたちがキリストの中へと信じることは、彼に対するわたしたちの評価であり、

彼が引き寄せることに対するわたしたちの反応です——ローマ 10:17. ヘブル 12:1-2 前半. 参照、使徒 14:27。

- C. 信仰は、言葉を聞くことから来ます。わたしたちが書かれた言葉（聖書）の中の生ける言（キリスト）へと来るとき、彼はわたしたちに対して、適用された言葉（その霊）、すなわち、信仰の言葉になります——ローマ 10:8, 17. ガラテヤ 3:2. 参照、ヘブル 3:12。
- D. 人がキリストに聞き、彼を知り、彼を評価し、彼を尊ぶとき、彼は人の中で信仰を生み出し、人の中で信仰となって、人が彼を信じることができるようにします——12:2 前半. ローマ 10:17. ガラテヤ 3:2, 5, 5:6。
- E. 信仰とは、神が有り、わたしたちが無いことを、信じることです。彼はあらゆる事において、ただひとりの方、唯一の方でなければならず、わたしたちはあらゆる事において、無でなければなりません——ヘブル 11:1, 5-6。
- F. わたしたちは信者として、わたしたちの信仰の霊を活用することにより、信仰によって生き、信仰としてのキリストを他の人たちの中へと注入します（Ⅱコリント 4:13. ローマ 10:14-17. 使徒 26:22-29）。それによって彼らは、彼の定められた御旨のために、以下のようなキリストとの有機的な関係の中へともたらされます：
1. キリストは栽培されたオリーブの木またぶどうの木であり、わたしたちは彼の枝です——ローマ 11:17, 24. ヨハネ 15:1-8。
 2. キリストはかしらであり、わたしたちは彼の肢体です——Ⅰコリント 12:12, 27。
 3. キリストは、命の息、命の水、命のパンであり、わたしたちは、彼を呼吸する者、彼を飲む者、彼を食べる者です——ヨハネ 20:22. 4:10, 14. 7:37-39 前半. 6:35, 51-63, 68。
 4. キリストは花婿であり、わたしたちは彼の花嫁です——3:29-30. Ⅱコリント 11:2-3。
- G. 信仰とは、主観的な神がわたしたちの存在に適用されることです。こういうわけで、神にとって不可能なことは何もないのと同じように、信仰にとって不可能なことは何もありません——マタイ 17:20. 19:26。
- H. 信仰の大いなる、抑制することのできない、無限の力によって、多くの人は動機づけられて、主のために苦難を受け、命の危険を冒し、勝利を得た、遣わされた者また殉教者となり、神の永遠のエコノミーの福音を地の果てにまで広めます——ルカ 18:8. ローマ 16:3-4. 使徒 20:24. Ⅰテモテ 1:4, 11-12. マタイ 24:14. 使徒 1:8。

真の、内在的な、最高の、最も満ち満ちた、神のエコノミーの福音

聖書：サムエル下 7:12-14 前半、エペソ 3:16-19、ローマ 1:1-4、8:6, 10-11, 28-29、12:5、16:20

I. 真の、内在的な、最高の、最も満ち満ちた福音とは、神のエコノミーの福音、すなわち、子たる身分の福音です。それは、神を人の中へと建造し込み、人を神の中へと建造し込むことによって、キリストのからだとしての召会を建造します——I テモテ 1:3-4、エペソ 3:8-11, 16-19、ローマ 1:3-4、8:29、12:5、サムエル下 7:12-14 前半：

A. わたしたちは信じなければなりません、人の中には神の創造された能力があつて、彼の福音を受け入れ、理解することができます——ヨブ 32:8、ゼカリヤ 12:1、伝 3:11：

1. わたしたちは、人が理解できるとわたしたちが思う水準にまで引き下げた福音を宣べ伝えるべきではありません。わたしたちは、引き上げられた福音を宣べ伝えるべきであつて、決して内容を引き下げるべきではありません——I テサロニケ 1:1, 3-4, 10、5:23、I コリント 2:7-13。

2. 人は神のために造られました。人の内側には、神の事柄を理解する能力があり、これらの事柄に対する渴望があります——使徒 17:26-31、イザヤ 43:7。

B. わたしたちは全聖書にしたがつて、一点一点と神のエコノミーに関する真理を提示しなければなりません。これが、わたしたちに対する主の特別な委託です——I コリント 1:9、9:16-17, 23、I テモテ 1:3-4、2:7、4:16、II テモテ 1:11、2:2, 15、コロサイ 1:28。

II. 神の永遠のエコノミーの福音は、「父祖に対してなされた約束の福音」（使徒 13:32）です。この約束とは、ダビデの子孫が神の子になること、すなわち、人の子孫が神聖な子になるということです（22-23, 33-34 節、26:6, 16-19、サムエル下 7:12-14 前半、ローマ 1:3-4、マタイ 22:41-45）。

III. 「ダビデの子孫が神の子になること」は、キリストが復活によって神の長子と明示される過程について語っています——ローマ 8:29：

A. パウロは、自分は神の福音へと選び分けられたと言いました。この福音は、神の御子に関するものです。これが示していることは、神の福音とは、子たる身分の福音であつて、諸地方召会におけるキリストのからだの実際のためであるということです——1:1, 3-4、8:28-30、12:5、16:20。

B. ローマ第1章3節から4節は、サムエル下第7章12節から14節前半の予表における予言の成就であり、一つの奥義を明らかに示しています。それは、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく、命と性質において神となるためであるということです。

C. キリストは、彼の神性において神のひとり子ですが（ヨハネ 1:18）、肉体と成ることによって、神性とは何の関係もない肉体、すなわち、人の性質を着ました。彼の人性において、彼は神の子ではありませんでした。

D. 復活において、キリストの人性は神化され、息子化されました。その意味は、彼が神の子と明示されて、神の長子となり、神性と人性の両方を持ったということです。

——ローマ 8:29。

- E. こういうわけで、キリストにおいて、神は人の中へと構成し込まれ、人は神の中へと構成し込まれました。神と人は共にミングリングされて、一つの実体、すなわち、神・人となりました。
- F. 神のエコノミーにおける神の福音と彼の意図は、神を人の中へと建造し込み、人を神の中へと建造し込むことです。この建造は、神が人（ダビデの子孫）と成って、人を神（神の子）とならせることです。
- G. この福音が主イエスによって語られたのは、主が次のように語ったときです、「まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ」——ヨハネ 12:24 :

1. もし、種が土に埋められて死ぬなら、それは最終的に復活の中で発芽し、成長し、開花します。なぜなら、種の命の作用が、その死と同時に活性化されるからです—— I コリント 15:36. I ペテロ 3:18。
2. キリストの中の神性、すなわち、聖別の霊は、彼の死において作用しました。そして彼の復活において、彼は「開花し」、神の長子また命を分与する霊と成って、彼の神聖な命をわたしたちの中へと分け与え、わたしたちを彼の多くの兄弟たちとしました——ローマ 1:4, 8:29. I コリント 15:45 後半。
3. 原型は神の長子です。複製は神の多くの子たち、すなわち、原型の肢体たちであって、彼のからだとなり、新エルサレムにおいて究極的に完成します——コロサイ 1:18. I ペテロ 1:3。

IV. 「ダビデの子孫が神の子になること」はまた、わたしたちが復活によって神の多くの子たちと明示される過程についても語っています——ヘブル 2:10-11 :

- A. キリストはすでに神の子と明示されました。しかし、わたしたちは依然として、明示される過程、すなわち、息子化され、神化される過程にあります——ローマ 8:28-29。
- B. 神の子の命は、わたしたちの霊の中へと植えられました—— 10 節 :
1. 今やわたしたちは、地にまかれた種と同じように、死と復活の過程を経過しなければなりません——ヨハネ 12:24-26。
 2. これは、外なる人を消耗させます。しかし、それによって内なる人は、わたしたちの内側から成長し、発展し、究極的には開花します。これが復活です—— I コリント 15:31, 36. II コリント 4:10-12, 16-18。
- C. 復活の中で、キリストは彼の人性において神の子と明示されました。このような復活によって、わたしたちもまた神の子たちと明示される過程にあります——ローマ 8:11 :
1. わたしたちが明示され、息子化され、神化される過程は、復活の過程であり、それには四つの主要な面があります。すなわち、聖別、造り変え、同形化、栄光化です—— 6:22. 12:2. 8:29-30。
 2. 明示される過程のかぎは、復活です。すなわち、内住のキリストであり、それは、わたしたちの霊の中の起き上がる霊、明示する霊、命の力です——ヨハネ 11:25。

ローマ 8:10-11. 使徒 2:24. I コリント 15:26. 5:4 :

- a. わたしたちの緊急の必要は、どのようにして霊にしたがって歩き、明示する霊を享受し経験するかを学ぶことです——ローマ 8:4, 6, 14。
- b. わたしたちはその霊に触れれば触れるほど、さらに聖別され、造り変えられ、同形化され、栄光化されて、神格においてではなく、命と性質において神となり、キリストのからだを建造し、新エルサレムを究極的に完成します——I コリント 12:3. ローマ 10:12-13. 8:15-16. ガラテヤ 4:6。

D. わたしたちは命において成長して、造り変えの新陳代謝の過程を経過すればするほど、さらにわたしたちは神の子たちと明示されます——II コリント 3:18, 6, 16. 5:4, 9, 14-15. 1:12. 12:7-9 :

1. この新陳代謝的過程は、召会を建造して、キリストのからだ、神の家とすることです。これは、神を人の中へと建造し込むことと、人を神の中へと建造し込むことによります——ローマ 12:2. エペソ 1:22-23. 2:20-22。
2. 人性は、神性の中で明示されます。神性と人性はブレンディングされて、一となります。今日、人の子孫であるわたしたちは、神の建造の過程を通して、神性の中で神の子たちとなりつつあります。
3. この建造は、新エルサレムにおいて究極的に完成して、大いなる団体の神・人、すなわち、神のすべての子たちの集大成、総合計となります——啓 21:7。
4. ある日、この過程は完成します。そしてわたしたちは、わたしたちの霊、魂、体において、神の長子であるキリストと、永遠にわたって同じになります——I ヨハネ 3:2. ローマ 8:19, 23. 詩歌 764 番 2 節。

E. 「神の側では、三一の神は肉体と成って、人と成られました。わたしたちの側では、わたしたちは神化されつつあり、手順を経て究極的に完成された三一の神をもって構成されつつあります。それは、わたしたちが命と性質において神とされて、永遠にわたって彼の団体の表現となるためです。これが最高の真理であり、これが最高の福音です」——ヨブ記ライフスタディ、178-179 ページ。

V. 真の、内在的な福音とは、神がキリストの中で、ご自身をわたしたちの中に造り込むということです——サムエル下 7:12-14 前半. ローマ 1:1-4, 9 :

- A. キリストが召会を建造するのは、ご自身をわたしたちの中へと建造し込んで、わたしたちの心、すなわち、わたしたちの内在的な構成を、彼のホームとならせることによります——エペソ 3:16-19。
- B. もし、わたしたちがこの福音を宣べ伝えるなら、わたしたちは他の人たちに、彼らが必要とするのは、キリスト（神ご自身）が彼らの存在の中へと造り込まれることであると告げるでしょう——17 節前半. ヨハネ 14:23。
- C. 「今日の世界は、一群れの人たちが立ち上がって、最高の、最も満ち満ちた福音を宣べ伝えることを必要とします」——ヘブル人への手紙ライフスタディ、222 ページ。